

生涯学習

施策展開の方向及び主要事業	37
啓発事業	39
生涯学習センター	39
青少年教育	41
成人教育	42
南部青少年センター	43
公民館	45
図書館	47
文化財	48
埋蔵文化財調査センター	50
千葉市の文化財一覧	52
加曽利貝塚博物館	56
郷土博物館	58
千葉市科学館	60

生涯学習

■施策展開の方向及び主要事業

1 学習活動のきっかけの提供

①生涯学習の普及啓発

学ぶ場と学ぶための情報提供の充実

市民の生涯学習のきっかけづくりとなる各種生涯学習情報を発信する。発信にあたっては、市ホームページ・生涯学習センターホームページ、市政だより、教育だより、公民館だよりのほか、ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）等を積極的に活用していく。

また、国・県の施設や大学、専門学校等が実施する講座等についても、積極的に情報の収集及び提供を図り、学習機会の拡大に努める。

e ラーニング普及事業の実施

学習活動に時間を取れない市民の学習機会の拡大のため、いつでもどこでも学ぶことができる e ラーニングの普及を図り、生涯学習センターでの体験スペースの提供等を実施する。

②学習環境の整備

図書館サービスの向上

図書館資料の整備に努めるほか、一部の地区図書館の開館日・開館時間の拡大を進めるなど、身近で頼れる市民の図書館として図書サービスを充実する。また、図書館ホームページにおいて、企画展示等の学習関連情報を発信するほか、インターネット予約等の利便性が高いサービスを提供する。

そのほか、社会の変化や利用者ニーズに合わせた新しい図書館サービスの提供を図るため、図書館システムの再構築を行う。

公民館の改築

生涯学習環境を改善するため、老朽化した犢橋公民館の改築を行う。

公民館の改修

生涯学習環境を改善するため、公民館の老朽化した施設・設備の改修を行う。

中央図書館・生涯学習センター等の改修

生涯学習環境を改善するため、中央図書館・生涯学習センター、南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館の老朽化した施設・設備の改修を行う。

2 多様な学習機会の確保

①郷土への愛着を深める学習機会の提供

加曽利貝塚の国特別史跡指定

加曽利貝塚の国特別史跡指定に向けた取り組みを推進する。

文化財の保存・活用の推進

文化財を適正に保存・管理するため、建造物の改修等を行う。

郷土の理解を深める講座・事業の充実

郷土を理解し愛着を深めるため、加曽利貝塚、千葉氏、大賀ハス、及び海辺等に代表される郷土の歴史・伝統文化や本市の風土・自然・産業等を学ぶ講座、発掘体験・土器づくり等の体験学習、博物館展示解説等を充実する。

また、主要駅に近隣の史跡や文化財の所在地を示した案内看板を設置するとともに、史跡・文化財の解説を掲載した文化財説明板の拡充を図る。

②市民ニーズに対応した学習機会の提供

「(仮称)瑞穂情報図書センター」の整備

図書館サービスの向上とより良い読書環境を提供するため、花見川区役所の一部スペースを活用して「(仮称)瑞穂情報図書センター」を整備する。

未来の科学者育成プログラムの充実

中学生・高校生を対象に、科学に興味・関心を持たせ、その能力を伸ばすために質の高い学習プログラムを提供し、市内の大学、研究機関、企業などが有する先端科学技術を体験させることにより、未来の科学者を目指す意欲を高める。

今後は、小学生を対象とした講座の充実を図る。

キャリア教育の推進

就業前の児童・生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力を育てるとともに、地域の企業等の事業への理解を深めてもらうために、職業に関する学習や職場体験等のキャリア発達を促す体験活動を地域の様々な機関と連携して行う。

また、大学、専門学校等の高等教育機関と連携して資格取得のための講座等の情報提供やeラーニングを活用した就労や学び直し・キャリアアップに寄与する学習機会の提供など、個人生活の向上と共に、市民生活や地域産業経済を支える人材の育成にもつながる、キャリア教育を推進する。

放課後子ども教室の推進（再掲）

家庭教育支援事業の実施

家庭教育学習講座を開催するほか、家庭教育支援チームや子育てサポーターの活動を通じて、家庭教育の支援や子育ての不安や悩みの解消を図る。

3 学びを生かしたコミュニティづくり

①地域の担い手となる人材育成

団体・グループ活動のリーダーの養成・育成

新しく学習活動を始める個人・団体の参加の促進や既存団体の活動の活性化等により、地域での学習活動や地域づくりを推進するため、ファシリテーション研修やコーディネーター養成講座等を実施し、リーダーとなる人材の養成・育成を充実する。

ボランティアの育成

学習活動を通じた地域づくりのため、自らの知識や技能を社会・地域に還元することを目的とする生涯学習ボランティアを生涯学習センターで研修等の実施により育成する。

また、合同説明会の開催等を通して、他の施設・団体（千葉市ボランティアセンター、千葉市民活動支援センター、(公財)千葉市国際交流協会）が所管するボランティア等との連携・協働を図る。

さらに、生涯学習施設の企画・運営等に協力する施設ボランティアのほか、平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを見すえ、障害者スポーツを支援するボランティアをはじめ、必要な各種ボランティア等を育成する。

②学習成果の活用機会の提供

ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施

ボランティアがさらに活用されるよう、ボランティアとその支援を必要とする団体・個人のマッチングを行うため、千葉市ボランティアセンター、ちば生涯学習ボランティアセンター、及び千葉市国際交流協会において、ボランティアに関する相談に応じ、登録ボランティアとのコーディネートを行うほか、千葉市民活動支援センターにおいて、ボランティア情報の提供等を実施する。

また、上記の団体・施設間で定期的な情報交換を行い、他団体・施設の所管するボランティアについても情報提供に努める。

③市民の参加・協働による学習活動の推進

多様な主体による学習活動の推進

大学等の高等教育機関、CSR活動を行っている民間企業やNPO法人、生涯学習施設で活動する社会教育関係団体等の多様な主体と連携し、それぞれの専門性を生かした講座等の開催を推進する。

公民館を拠点とした地域連携の推進

地域の絆を醸成するため、さらに地域の諸団体の活動拠点として公民館の利用を促し、諸団体の相互の関わりを意識的に持たせること等により、地域住民のつながりを深める。

■啓発事業

生涯学習情報誌「ちばまなびの森」を発行し、特集記事、イベント情報等を掲載し、生涯学習を総合的にPRする。

・年3回発行（7月、11月、3月）

・公民館、図書館、コミュニティセンター、区役所などにおいて、市民に配布。ホームページでも閲覧可能。

■生涯学習センター

生涯学習センターは、市民の主体的で創造的な学習活動を支援するため、関係機関との連携を強化するとともに、調査研究機能や学習プログラムの充実、学習情報の提供、相談体制の整備・充実など、生涯学習を総合的に推進する事業を展開している。

1 事業の概要

先進的な学習プログラムを実施し、地域から学ぶ実践的な学習講座を展開する。

また、ボランティア活動等を支援するための体験的な学習講座を実施している。

2 施設の利用状況（平成27年度）

（1）中央図書館・生涯学習センター入館者数…………… 1,136,809 人

（2）駐車場利用台数…………… 191,303 台

（3）施設利用件数（施設開館日数 348 日・18 施設）…………… 13,309 件

（4）マルチメディア体験施設使用状況…………… 22,511 人

3 生涯学習相談件数（平成27年度）…………… 2,438 件

4 視聴覚教育機器・ソフト貸出事業（平成27年度）

（1）16mm 映写機ほか9機種…………… 718 件

（2）16mm フィルムほか2種…………… 487 本

（3）利用相談件数…………… 256 件

5 学習事業（平成 27 年度）

（１）指定管理事業

事業分類	実施事業	延受講者数(人)
ちばカレッジ・地域学推進事業	ちばの社会科学見学、ちば歩き ほか	2,031
現代的課題学習	シニアのためのわかがえり塾、女性のための就活応援セミナー、わらべうたと絵本の会、子どもチャレンジ教室 ほか	3,647
指導者の養成	生涯学習指導者養成研修 基礎研修・実践研修、学校地域支援者研修、生涯学習コーディネーター養成講座、公民館職員研修、スタッフ研修 ほか	574
学習ボランティア活動の支援	施設ボランティア養成研修、まなびサポーターによる講座 ほか	1,556
ボランティアセンターの運営	生涯学習ボランティアセンター登録者研修	49
研修生等の受け入れ	社会体験派遣研修、中学生職場体験学習、インターンシップ ほか	113
パソコン講座	初・中・上級パソコン講座、ボランティアによる講座 ほか	6,360
視聴覚事業	16 ミリ映写機操作講習会、木曜名画座ほか	11,410
メディアリテラシーに関する学習	子どもをネット危機から守る安心ガイド ほか	25
情報端末機器に関する学習	アンドロイドスマートフォン活用講座 ほか	73
市民の学習活動への支援	市民自主企画講座	450
学習成果の発表の機会の確保	まなびフェスタ 2015、やすらぎのアトリウムコンサート ほか	5,137

（２）自主事業

事業分類	実施事業	延受講者数(人)
市民の学習ニーズに合わせた講座等の実施	親子でエコ・クッキング、市内大学公開講座、生涯学習アカデミーちば、埋蔵文化財に関する講座 ほか	2,641
施設をPRするために有効なイベントの開催	ニューフィル千葉コンサート「早春に贈るホッとコンサート」、第 24 回ちば音楽コンクール、著名人等による講演会・イベント ほか	2,854
生涯学習の発信拠点としての展示等の開催	写真で見る千葉市の遺跡展、埋蔵文化財ロビー巡回展、「ちば」に関する地域学展示 ほか	—

6 視聴覚ライブラリー

視聴覚メディア（マルチメディア機器）を活用した効果的な学習・教育活動を推進、奨励するため、小・中学校、公民館、社会教育団体等に対して、視聴覚教材、機材の貸出、16 ミリ映写機操作講習会を実施した。

また、視聴覚教材を計画的に購入し、ライブラリーの充実を図った。

視聴覚教材・機材保有状況（平成 28 年 4 月現在）

教材	16 ミリ映画フィルム	1,024 本
	8 ミリ映画フィルム	101 本
	ビデオソフト（VHS）	1,020 本
	スライド	42 組
	DVD	295 本
機材	16 ミリ映写機	5 台
	OHP	2 台
	OHC	1 台
	スクリーン	8 本
	ビデオプロジェクター	8 台
	スライドプロジェクター	1 台
	ビデオデッキ	3 台
	DVDデッキ	7 台
	ダブルデッキ	2 台
	暗幕	10 枚
	外部スピーカー	11 台

■青少年教育

南部青少年センター及び各地区の公民館等を拠点として、次代を担う少年少女が、心身ともに健全で創造性豊かに成長することを目的として、各種の青少年教育事業を実施している。

○事業一覧（平成 27 年度）

事業名	事業数	開催期間	内 容	会 場
少年少女科学クラブ	1	6月～3月	基礎工作、生活、学習、安全をテーマとしたアイデア工作等	科学館
チバシティアストロクラブ	1	6月～2月	星や宇宙に親しむクラブ活動	科学館 他
少年教室・講座	268	4月～3月	子どもチャレンジ広場、子ども科学教室 他	南部青少年センター 公民館 他
親子教室・親と子のつどい	25	4月～3月	親子体験学習、親子料理教室、親子陶芸教室 他	南部青少年センター 公民館 他

■成人教育

1 家庭教育学級、成人大学、成人教育講座等（平成 27 年度）

明日の豊かな市民生活のために、成人を対象とした幅広い学習の場を設け、自主的な共同学習の機会を提供している。

事業名	事業数	開催期間	内 容	会 場
家庭教育学級等	77	通年	それぞれの時期、立場にある親を対象とし、家庭教育の意義、家庭・親のあり方、子どもの発達段階の理解、望ましい子育て等を学習し、家庭教育の振興に資する。	公民館
子育て親育ち講座等 ※文部科学省補助事業	9	9月～2月	子育てやしつけなどの家庭教育のあり方について考える機会とする。保育所、小学校、公民館において実施。	保育所 小学校 公民館
成人教室、講座等	285	通年	現代的課題に関する講座、ボランティア養成、パソコン講座、郷土史講座、リサイクル講座 他	公民館
女性教室、講座等	28	通年	女性のためのセミナー、アクセサリ教室 他	公民館
高齢者教室、講座等	64	通年	高齢者携帯電話活用術、介護予防講座 他	公民館
コンサート、講演会等	69	通年	地域交流講座、ふれあいコンサート 他	公民館

2 社会教育関係団体・グループ育成

社会教育関係団体・グループの各種活動の充実を図るため、求めに応じて指導助言にあたるとともに育成に努めている。

（１）社会教育関係団体一覧（平成 28 年 4 月 1 日現在）

区 分	団 体 名	団体数	会員数
青年団体	千葉市青年協議会	9	283
女性団体	千葉市地域婦人団体連絡協議会	5	120
	千葉市女性グループ連絡会	12	165
	千葉市女性団体連絡会	6	262
成人団体	千葉市 P T A 連絡協議会	109	43,954
	千葉市高齢者学習団体連絡協議会	11	112
	千葉市ボランティアグループ連絡会	4	52
	公民館クラブ・サークル	1,948	23,396
	千葉ユネスコ協会	1	112

（２）育成事業一覧（平成 27 年度）

区 分	事業区分	事業数	内 容
成人団体	千葉市 P T A 連絡協議会事業	6	ブロック研修会、P T A 学級、広報担当者講習会、広報コンクール、広報紙発行、各種研修会派遣
	公民館クラブ・サークル等の連絡会事業	42	公民館文化祭
	公民館クラブ・サークル育成事業	18	サークルリーダー研修会 等
	千葉ユネスコ協会事業	2	国際理解・交流活動

■南部青少年センター

青少年が、主体的に自らの教養や技能を高めるとともに、学習や文化活動等を通して仲間づくりのできる場や機会の提供に努めており、地域の自治・社会福祉活動の場としても幅広く活用されている。

また、市民相互のふれあいによる学習活動を通じた新たな可能性と価値を生み出す地域づくりに寄与するため、学習成果の発表と異世代交流の場や機会を積極的に提供し、次代を担う青少年の健全育成を支援している。

1 運営方針

- (1) 社会の変化や青少年のニーズに応える創意工夫に満ちた事業の企画と実践に努めるとともに、青少年センターに求められる施設機能の充実に向け、効果的な事業展開を進める
 - ①セルフモニタリング等により利用者ニーズを的確に把握し、事業内容や実施方法の積極的な見直しを行う。
 - ②異年齢集団による活動や異世代の交流活動を支援し、青少年の健全育成を図る。
 - ③青少年・市民等の生涯学習活動の成果発表の場や機会を積極的に提供する。
 - ④優れた講師の活用とサークル活動の支援と育成を図る。
 - ⑤青少年育成に係る他機関やNPO等の市民団体と連携した事業の企画・実践により、事業の質的向上を図る。
 - ⑥社会福祉協議会、自治会、子ども会、ボランティア団体など地域の各種団体との連携を強化し、地域住民の利用促進を図るとともに、地域に開かれた事業を展開する。
 - ⑦みやこ図書館白旗分館と白旗エリア子どもルームとの連携を強化し、複合施設としての利点が活かせるよう各種事業の工夫改善を図る。
- (2) 学習情報の効果的な提供に努める
 - ①広報活動の推進と方法の工夫により、積極的な情報発信を図る。
 - ②他機関や団体との連携の強化による学習情報の収集、活用、提供に努める。
- (3) 施設・設備の整備と有効活用を図る
 - ①施設・設備の保守及び管理の徹底、迅速適切な修繕により、不具合や事故を防止する。
 - ②青少年や市民等の生涯学習活動の成果発表の場として施設・設備が有効活用されるように利用者の立場に立った施設整備に努めるとともに、貸し出し方法の改善等利用者サービスの向上を図る。
 - ③利用者への利用技術の伝達や指導の徹底を図る。
- (4) 災害時における利用者の安全を第一に、防災計画の強化を図る
 - ①各種保守点検を確実に実施し、改善が必要な事項には適切に対処する。
 - ②防災計画や災害発生時の対応マニュアルに基づく避難訓練を適切に実施し、災害時における利用者の安全を確保できるようにする。
 - ③災害発生時の対応マニュアルに基づく避難誘導の徹底を図る。
- (5) 職員の資質向上を図り、社会教育施設として市民サービスの向上を図る。また、管理運営経費等の効果的な執行を心掛ける
 - ①市民への信頼に応える明るく、親切、丁寧、迅速な対応を心掛ける。
 - ②計画的な職員研修による職員のスキルアップを図る。
 - ③社会教育施設の職員としての自覚と誇りを持ち、各種事業の実践にあたる。
 - ④責任ある業務処理と風通しの良い明るい職場づくりを行う。
 - ⑤光熱水費、消耗品費など必要経費の節減と効率的な執行を心掛ける。

2 事業の概要

事業名	主 な 内 容	実 施 期 間
施 設 貸 出	ホール・講習室・録音室・レッスン室・視聴覚室・料理実習室等の貸出し	通年
わくわくカレッジ	青少年・一般を対象としたフラワーアレンジ・料理・ヨーガ等の講座	4月～3月の土曜日等
ゆめチャレンジ	施設利用青少年団体等による成果発表会	1月
舞台照明・音響講習会	青少年・一般を対象としたホールの照明・音響設備の操作講習会	随時
ときめきサタディ	在学青少年を対象としたフラワーアレンジ・お菓子づくり等の講座	4月～3月の土曜日等
サマーチャレンジ	小学生を対象とした工作教室	夏休み期間

3 年間利用状況（平成27年度 開館日数294日）

（1）主催事業

	在学青少年対象	青少年・一般対象		合 計
	講座関係	講座関係	育成関係	
実施回数	18	11	8	37
参加人数	278	161	1,030	1,469

（2）貸出事業

	青少年	一 般	教育関係	官公署	合 計
利用回数	1,011	2,447	133	113	3,704
利用人数	8,620	12,887	7,052	3,891	32,450

4 利用方法

（1）施設貸出

- 期 間 通年（但し、月曜日・国民の祝日・年末年始を除く）
- 時 間 午前9時から午後9時まで（但し、小・中学生については、午前9時から午後5時まで）
- 対 象 市内在住・在勤・在学の青少年及び青少年団体並びに一般
- 受 付 Web 又は窓口で、青少年は利用の1か月前から、一般は2週間前から
- 利用料 無料

（2）主催事業

- 市政だより、ホームページ、学校・官庁・関係機関等へ「ちらし」の配布、ポスター掲示等により募集する。
- 申し込み受付は、来所、電話、往復ハガキで行い、受講者は、先着順または抽選により決定する。
- 受講料は無料。但し、教材費相当額を参加者負担とする。

■公 民 館

「ゆとりと活力ある都市づくり」を目指す本市では、社会教育を含めた生涯学習の拠点施設として公民館を設置し、地域住民の多様化する学習ニーズに対応した学習機会を提供している。

生活文化の向上や住みよい地域社会づくりを推進するために次の施策を展開する。

- ①地域住民の連帯感や自治意識を醸成する。
- ②地域住民の学習要求や生活課題の解決を援助する。

1 公民館の設置概要

本市の公民館は、原則として1中学校区に1館を設置する方針で整備した。

2 事業の概要

公民館は、市民のだれもが、いつでも、どこでも生涯にわたり学べる学習機会を提供している。

ここでは、居住区の特性や社会教育課題の発見に努め、地域連帯の輪を広げるとともに、人と人との結びつきを強めていく各種事業を企画・実施している。

なお、主催事業や各種活動をまとめると、以下の通りである。

(1) 少年教育事業

- ①少年教室・講座の実施
- ②親子教室、親と子のつどいの実施

(2) 成人教育事業

- ①家庭教育学級・講座の実施
- ②女性学級、女性教室・講座の実施
- ③成人教室・講座の実施
- ④高齢者学級・教室の実施

(3) 公民館クラブ、団体の育成

公民館の学級・講座から自主的にクラブを結成したり、地域の有志で組織したりしたクラブ等が、公民館を拠点に活動している。それらのクラブ、団体の自主的活動や文化祭等の援助をはじめ、地域の子ども会や公民館クラブ等の指導者講習会を開催し、育成に努めている。

(4) 情報の提供

地域住民の自主的な社会教育活動を促進するため、市政だよりへの掲載や公民館だより等を発行し、学習機会や学習の場などに関する情報を提供している。

3 施設の利用状況

(1) 年度別公民館利用状況（小数点以下四捨五入）

年 度	年間利用者人数(人)	日平均利用者人数(人)	利用回数(回)	日平均利用回数(回)
22年度	1,184,309	3,299	96,212	268
23年度	1,173,183	3,259	96,944	269
24年度	1,185,863	3,249	99,375	277
25年度	1,140,861	3,178	97,281	271
26年度	1,168,942	3,256	99,938	278
27年度	1,137,679	3,160	96,910	269

(2) 公民館利用状況 (平成 27 年度 開館日 359 日※)
(小数点以下四捨五入)

館 名	主催事業 等参加者 (人)	利用人数 (人)	日 平 均 (人)	延 利 用 回数(回)
松 ケ 丘	2,456	34,666	97	2,727
生 浜	1,411	20,516	57	2,008
新 宿	1,839	30,939	86	3,402
宮 崎	1,403	25,634	71	2,263
葛 城	1,253	11,920	33	1,198
末 広	2,292	17,588	49	1,643
椿 森	690	12,142	34	1,127
川 戸	1,242	15,560	43	1,347
星 久 喜	2,267	14,414	40	1,132
幕 張	6,300	36,799	123	2,926
花 園	3,172	40,318	112	3,042
犢 橋	495	9,658	27	966
検 見 川	1,921	25,179	70	2,266
花 見 川	1,768	22,884	64	1,649
さつきが丘	503	14,544	40	1,021
こてはし台	1,911	19,757	55	1,708
長 作	361	13,318	37	1,169
朝日ヶ丘	1,219	19,360	54	1,609
幕張本郷	2,775	28,130	78	2,375
小 中 台	1,713	47,096	131	3,720
黒 砂	2,404	37,422	104	2,915
轟	3,093	37,702	105	3,222
稲 毛	2,026	32,886	91	2,250
千 草 台	2,456	17,663	49	1,486
草 野	239	14,335	40	1,281
山 王	3,091	19,111	53	1,528
都 賀	1,291	14,121	39	1,102
緑 が 丘	1,151	18,270	51	1,498
千 城 台	5,806	43,641	121	3,683
更 科	741	11,365	32	1,143
白 井	1,216	18,636	52	2,230
加 曾 利	1,055	11,994	33	1,248
大 宮	1,235	23,323	65	1,722
みつわ台	1,956	29,749	83	2,248
若 松	2,238	18,519	51	1,752
桜 木	1,947	22,081	61	2,066
誉 田	961	39,033	109	3,175
椎 名	712	12,836	36	1,226
土 気	1,670	24,893	69	1,980
越 智	676	15,918	44	1,802
おゆみ野	3,044	45,508	126	3,858
稲 浜	3,239	44,162	123	4,030
幕 張 西	2,085	24,457	68	2,270
磯 辺	888	14,949	42	1,440
幸 町	2,514	25,157	70	2,452
高 浜	3,015	23,513	65	1,956
打 瀬	301	36,013	100	2,049
合 計	88,041	1,137,679	68	96,910

※幕張他 7 館は修繕等のため休館日あり。

4 公民館図書室資料の整備状況

(平成 27 年度)

館 名	蔵書(冊)	雑誌(誌)	新聞(紙)	蔵 書 中 児童書数(冊)
生 浜	16,762	9	1	6,986
幕 張	21,177	12	1	7,935
検 見 川	27,897	8	1	11,229
さつきが丘	25,116	3	1	9,364
長 作	22,963	8	1	9,965
朝日ヶ丘	21,508	6	1	8,383
千 草 台	26,172	6	1	9,405
草 野	24,268	3	1	9,258
山 王	24,640	4	1	9,907
都 賀	25,771	4	1	9,126
緑 が 丘	18,310	5	1	6,374
更 科	17,010	9	1	7,537
大 宮	24,723	3	1	8,244
みつわ台	25,150	6	1	9,361
若 松	26,326	7	1	10,043
桜 木	22,723	4	1	7,990
誉 田	33,833	7	1	12,537
越 智	19,216	6	1	7,800
幕 張 西	22,331	5	1	8,177
磯 辺	22,785	6	1	12,028
幸 町	50,894	6	1	17,433
合 計	519,575	127	21	199,092

5 公民館図書室の図書貸出状況、開館日数

(平成 27 年度)

館 名	図 書			開館日数 (日)
	一 般	児 童	合 計	
生 浜	23,699	12,746	36,445	344
幕 張	48,839	30,280	79,119	309
検 見 川	37,116	27,386	64,502	344
さつきが丘	27,436	10,024	37,460	344
長 作	12,764	5,542	18,306	344
朝日ヶ丘	38,723	19,525	58,248	344
千 草 台	20,698	7,159	27,855	344
草 野	21,348	11,302	32,650	344
山 王	16,871	9,232	26,103	344
都 賀	20,741	24,101	44,842	344
緑 が 丘	29,043	18,119	47,162	344
更 科	6,652	3,081	9,733	344
大 宮	14,440	4,868	19,308	344
みつわ台	50,875	30,914	81,789	344
若 松	17,042	15,318	32,360	344
桜 木	21,031	19,389	40,420	344
誉 田	22,627	19,516	42,143	344
越 智	14,862	4,919	19,781	344
幕 張 西	43,667	43,951	87,618	344
磯 辺	18,908	10,560	29,468	344
幸 町	37,054	17,710	54,764	344
合 計	544,434	345,642	890,076	

■図 書 館

1 図書館の概要

図書館は昭和 47 年の北部図書館（現稲毛図書館）の開館に始まり、現在、中央図書館を中核とし、地区図書館 6 館、分館 7 館及び公民館図書室 21 室を設置し、移動図書館（ステーション数 27）と併せて市内全域に図書館サービスを行っている。

<図書館の特色>

- ①だれもが、いつでも、どこでも気軽に利用できるように市内に 14 の図書館と 21 の公民館図書室を設置し、全てをオンラインで結び、貸出・返却等の業務のほか、資料情報の提供も行っている。
また、市内の図書館間（公民館図書室を含む）にブックメールカーを週 6 日運行し、市内図書館の所蔵資料の共有化と有効利用を図り、市民への迅速な資料の提供に努めている。
- ②インターネットによる所蔵資料の蔵書検索サービス等を行い、幅広い情報提供に努めるとともに、平成 19 年 4 月よりインターネットを通じた予約サービスを開始した。
- ③市民の高度なレファレンスに応えるため、中央図書館を核として調査・研究機能の充実に努めている。平成 19 年 4 月よりインターネットによるレファレンスサービスを開始した。
- ④市民の多岐多様なニーズに応えるため、中央図書館を核として、それぞれの図書館の機能、役割に沿った資料の体系的な収集、保存を行っている。
- ⑤図書館の利用に障害のある方へのサービスとして、対面音訳、自宅配本や郵送貸出等のサービスの充実に努めている。
- ⑥平成 16 年 3 月に「千葉市子ども読書活動推進計画」を策定。平成 23 年 3 月には第 2 次計画を、また平成 28 年 3 月には第 3 次計画を新たに策定し、より一層の子どもの読書活動の推進を図っている。
- ⑦平成 22 年 3 月に「千葉市図書館サービスプラン 2010～きて、みて、発見！身近で頼れるみんなの図書館」を策定し、図書館サービスの充実に努めている。
- ⑧平成 26 年 3 月に「千葉市読書環境整備計画」を策定し、サービス拠点の整備、ICT の利活用、既存図書館の機能更新等、整備の方向性を示した。
- ⑨郷土資料のデジタル化事業により、平成 24 年度に広報映画など 118 本の映像資料をデジタル化し、平成 25 年度は、市民フォトちば全 150 冊と写真資料約 3 万枚をデジタル化した。また、平成 26 年 3 月には、映像資料（50 点）の貸出、図書館ホームページでの写真資料（100 点）の公開を開始した。

2 図書館資料の整備状況（平成 27 年度）

館 名	図 書			視 聴 覚 資 料					雑誌	新聞	紙芝居
	一 般	児 童	合 計	C D	カセット	ビデオ	D V D	マイクロフィルム			
中 央 図 書 館	冊	冊	冊	点	点	点	点	点	誌	紙	点
移 動 図 書 館	816,769	149,903	966,672	8,188	349	3,095	2,895	1,228	999	132	1,078
団 体 貸 出	13,978	10,534	24,512	—	—	—	—	—	7	—	—
計	7,474	54,357	61,831	—	—	—	—	—	—	—	—
み や こ 図 書 館	838,221	214,794	1,053,015	8,188	349	3,095	2,895	1,228	1,006	132	1,078
白 旗 分 館	99,337	30,575	129,912	2,050	796	49	28	—	108	10	800
計	52,105	18,438	70,543	—	—	—	1	—	58	6	494
花 見 川 図 書 館	151,442	49,013	200,455	2,050	796	49	29	0	166	16	1,294
花見川団地分館	111,005	28,169	139,174	2,281	3	66	24	—	136	9	608
計	44,244	16,797	61,041	—	—	—	1	—	62	5	158
稲 毛 図 書 館	155,249	44,966	200,215	2,281	3	66	25	0	198	14	766
若 葉 図 書 館	117,554	32,788	150,342	2,602	440	66	23	0	135	10	307
西 都 賀 分 館	89,448	24,080	113,528	2,027	280	52	12	—	113	11	378
泉 分 館	52,369	19,618	71,987	—	—	—	1	—	55	6	168
計	32,317	9,176	41,493	—	—	2	3	—	48	5	380
緑 図 書 館	174,134	52,874	227,008	2,027	280	54	16	0	216	22	926
あすみが丘分館	98,944	34,167	133,111	2,912	168	50	9	—	185	12	563
土 気 図 書 室	49,792	19,233	69,025	—	—	3	2	—	64	9	581
計	16,624	12,106	28,730	—	—	—	—	—	14	—	203
美 浜 図 書 館	165,360	65,506	230,866	2,912	168	53	11	0	263	21	1,347
打 瀬 分 館	84,602	25,561	110,163	3,879	—	11	7	—	107	10	674
計	49,523	18,105	67,628	—	—	—	1	—	90	10	462
合 計	134,125	43,666	177,791	3,879	0	11	8	0	197	20	1,136
合 計	1,736,085	503,607	2,239,692	23,939	2,036	3,394	3,007	1,228	2,181	235	6,854

3 図書・視聴覚資料の貸出状況、開館日数（平成27年度）

館名	図 書			視 聴 覚 資 料				開館日数
	一 般	児 童	合 計	C D	カセット	ビデオ	DVD	
中 央 図 書 館	冊 722,219	冊 319,737	冊 1,091,956	点 57,705	点 462	点 1,143	点 32,816	日 292
移動図書館	35,818	22,398	58,216	4	—	—	1	231
団体貸出	628	25,531	26,159	—	—	—	—	208
計	808,665	367,666	1,176,331	57,709	462	1,143	32,817	
みやこ図書館	143,485	58,338	201,823	7,561	363	93	512	296
白旗分館	103,754	61,289	165,043	3,248	43	55	796	282
計	247,239	119,627	366,866	10,809	406	148	1,308	
花見川図書館	101,626	35,327	136,953	6,459	1	11	462	296
花見川団地分館	99,555	25,187	124,742	2,050	4	62	632	282
計	201,181	60,514	261,695	8,509	5	73	1,094	
稲毛図書館	243,624	134,010	377,634	14,594	312	66	1,323	296
若葉図書館	132,186	44,208	176,394	9,529	129	93	571	296
西都賀分館	80,768	38,731	119,499	2,702	21	23	613	282
泉分館	29,328	12,793	42,121	390	2	6	49	282
計	242,282	95,732	338,014	12,621	152	122	1,233	
緑図書館	234,198	146,353	380,551	12,913	152	72	925	296
あすみが丘分館	112,441	57,909	170,350	2,401	3	71	1,006	282
土気図書室	8,396	5,563	13,959	473	5	3	87	143
計	355,035	209,825	564,860	15,787	160	146	2,018	
美浜図書館	329,064	119,267	448,331	20,691	54	47	1,686	296
打瀬分館	202,057	115,520	317,577	4,126	7	27	864	282
計	531,121	234,787	765,908	24,817	61	74	2,550	
合 計	2,629,147	1,222,161	3,851,308	144,846	1,558	1,772	42,343	

4 千葉市図書館情報ネットワーク協議会

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、市内の公立図書館、大学図書館、研究機関等の図書室などが、館種を越えた相互協力を通じて、情報提供の推進と図書館サービスの向上を図ることを目的として平成6年1月に設立された。

平成27年度の加盟館は26館となっている。

総会、理事会、年2回の研修会及び機関紙の発行等の活動を行っている。

■文化財

郷土の歴史・文化への理解を深め、個性豊かな地域文化をはぐくむために、文化財の保存と活用の施策を進める。

《文化財の調査研究》

- 文化財の実態把握と基礎調査の推進
- 文化財台帳の整備

《文化財の保護》

- 主要な文化財の指定・登録
- 文化財の保全と管理の充実
- 埋蔵文化財保護のための助成と指導
- 史跡の公有化と環境整備の推進
- 文化財保護体制の強化

《文化財の公開と活用》

- 資料の公開・展示・収集・保管の充実、普及活動の拡充
 - ・埋蔵文化財調査センター …… 埋蔵文化財
 - ・加曽利貝塚博物館 …… 縄文貝塚資料
 - ・郷土博物館 …… 歴史・民俗・美術工芸

1 文化財の保護と周知

市内に所在する史跡や建造物などの文化財について、関係諸機関等と協力して保護と周知に努め、郷土の文化財に対する市民の理解と愛護の心を培い、郷土意識の高揚を図る。

また、関係部局・機関との連携のもとに、市域に所在する埋蔵文化財が不法に破壊されたり、ゴミを投棄されたりすることのないよう保護に努める。

2 文化財の指定・登録

市内に所在する様々な文化財の実態把握に努め、市指定文化財の指定および市地域文化財の登録に向けた調査・検討を行う。

平成 27 年度は黒砂第一自治会所有の「黒砂分教場の記念碑」を平成 27 年 4 月 15 日付けで、「千葉市ゆかりの家・いなげ（旧武見家住宅）」を平成 28 年 1 月 20 日付けで、千葉市地域有形文化財に登録した。

また、千葉県立美術館所蔵の「石井雙石篆刻資料」が、平成 28 年 3 月 4 日付けで、千葉県指定有形文化財に指定された。

3 文化財の管理

○指定・登録文化財の管理

市内に所在する指定・登録文化財を現状の姿で永く後世に伝えるために、その実態を把握し、管理及び保存・整備についての助成を行うとともに、適切な指導を行う。

○史跡等の管理

月ノ木貝塚等の公有化して保存されている遺跡について、雑草の除去や不法投棄ゴミの撤去等を行い、景観および安全を保持するとともに、将来の整備・活用に向けて良好に保全する。

4 加曽利貝塚特別史跡指定に向けた取り組み

国指定史跡加曽利貝塚について、きわめて歴史的価値の高い遺跡であることから特別史跡の指定に向けた取り組みを行っている。平成年 24 度から 5 年間で、これまでの調査・研究の成果をまとめるとともに過去の出土資料を再度、整理・分析し、平成 28 年度に加曽利貝塚の全体像を示す総括的な報告書の刊行を予定している。

5 埋蔵文化財の保護と事前協議

開発事業に先立って、埋蔵文化財保護のために事業者と綿密に事前協議を行い、開発事業と埋蔵文化財の円滑な調整を図る。

(1) 埋蔵文化財の所在の協議依頼…………… 19 件

(内訳) 埋蔵文化財有り…………… 8 件

埋蔵文化財無し…………… 11 件

(2) 埋蔵文化財発掘の届出等

ア 発掘調査の届出・報告…………… 11 件

調査主体者	確認調査	確認・本調査	本調査	計
公益財団法人千葉市教育振興財団	0	0	4	4
千葉市埋蔵文化財調査センター	5	1	1	7
合計	5	1	5	11

イ 土木工事等の届出・通知…………… 198 件

届出・通知者	発掘調査	工事立会	慎重工事	計
民間	5	76	113	194
公共	0	3	1	4
合計	5	79	114	198

6 郷土芸能保護事業の充実

(1) 郷土芸能後継者養成事業

郷土芸能保存協会の加盟団体が通年で実施している神楽・囃子・獅子舞等の後継者養成事業に補助金を交付し、郷土芸能の保存・振興を図っている。

(2) 郷土芸能用具補修事業

郷土芸能で使用している装束・面・太鼓等の貴重な用具を後世に伝えるため、用具の補修費の一部を助成している。

<千葉県郷土芸能保存協会加盟団体>

郷 土 芸 能 名	保 存 団 体 名	継 承 地	指定・登録
浅間神社の神楽	稲毛浅間神社神楽連	稲毛区稲毛	県指定
三代王神社の神楽	三代王神社神楽連(休会中)	花見川区武石町	市登録
作草部神社の神楽	作草部神社神楽連	稲毛区作草部	
登戸の神楽囃子	登渡神社登戸囃子連	中央区登戸	市登録
子安神社の神楽	畑町子安神社神楽連	花見川区畑町	
千葉神社の神楽	千葉神社神楽連	中央区院内	
八劔神社の神楽	八劔神社神楽連	中央区南生実町	市指定
大六天神社の囃子	貝塚大六天神社囃子連	若葉区貝塚町	
浜野の祭囃子	浜野祭囃子保存会	中央区浜野町	
矢作の囃子	矢作囃子保存会	中央区矢作町	
諏訪神社の囃子	都町諏訪神社囃子会	中央区都町	
検見川神社の神楽・祭囃子	検見川神社神楽囃子連	花見川区検見川町	市登録
大宮神社の囃子	大宮神社下長囃子会	若葉区大宮町	

■埋蔵文化財調査センター

発掘調査によって収集された多くの出土品や記録物の適切な保存と活用、埋蔵文化財の調査研究等を推進している。

なお、発掘調査・文化財普及事業の一部については、公益財団法人千葉市教育振興財団が実施している。

市内各所の開発などに伴う埋蔵文化財・発掘調査による出土品及び図面・写真等の記録はセンターに納められ、保管される。保管資料については修復し台帳に登録して、教育・普及活動、市民の学習活動に活用できるよう保管体制の整備が進められている。

1 収蔵保管

○新収蔵資料

遺 跡 名	場 所	時 代 ・ 種 別	資 料
川戸・柳沢遺跡	中央区川戸町	平 集落跡	土師器、須恵器
宮野木原第2遺跡	稲毛区宮野木町	縄、古、平 集落跡	縄文土器、石器、土師器、須恵器、土製品、鉄製品、
向ノ台遺跡	中央区都町	縄、弥、古、中・近 集落跡	縄文土器、礫、弥生土器、有角石器、土師器、常滑甕
田向遺跡	中央区仁戸名町	縄、古、奈・平、中・近 集落跡、貝塚	縄文土器、土師器、須恵器、鉄器、石製品
高崎台遺跡	中央区星久喜町	縄	縄文土器、貝サンプル

※旧=旧石器時代、縄=縄文時代、弥=弥生時代、古=古墳時代、奈=奈良時代、平=平安時代、中=中世、近=近世

2 文化財普及

(1) 常設展示（館内）

埋蔵文化財の保護と活用、センターの業務内容についてパネルによって解説するとともに、千葉市の原始・古代

から歴史時代に至る移り変わりを、これまでの発掘調査で発見された遺構や出土遺物、複製品・模型・解説パネルなどで、よりわかりやすく、視覚的に学習できるようにしている。

(2) 速報展示 (館内)

発掘調査等で発見された遺物・遺構の中で、歴史的価値の高いもの・稀少なもの・話題性に富むものなどを速やかに展示し、市民の学習に供するとともに、広く一般に公開する。

(3) 埋蔵文化財ロビー巡回展

埋蔵文化財を通して千葉市の歴史を理解してもらうため、収蔵している埋蔵文化財を市内の各施設のロビー等で期間を決めて展示・公開している。

平成 27 年度は、『縄文から弥生へ』と題し、平成 27 年 11 月 18 日から平成 28 年 2 月 28 日にかけて、郷土博物館、ギャラリー・いなげ、埋蔵文化財調査センター、生涯学習センター、中央図書館の 5 施設で出土品やパネル等の展示を行った。

また、開催期間中に講座を生涯学習センターで 3 回実施した。

(4) ミニ企画展

公共施設等の依頼により各施設などで、パネル・埋蔵文化財等を展示・公開し千葉市の歴史をわかりやすく説明する。

(5) 出前授業

主に歴史教育の一環として小学校を中心に、滑石を使用した勾玉作り、火起こし、組紐作りや本物の土器・石器等に触れる体験を行うとともに、画像データなどを活用して埋蔵文化財の調査方法や学校周辺の遺跡容器の歴史に関する講座を実施している。

(6) 講師派遣

生涯学習センター・公民館・博物館等の施設での事業やその他各種団体による講演会等に講師を派遣している。

(7) 資料貸出

小学校を対象に古墳時代の土器セット（甕・甔・杯など 10 点）の貸出を行っている。

(8) 千葉市遺跡発表会(縄文フェスタの一事業として)

市内で実施した発掘調査の最新の成果を広く公開することを目的に開催している。

平成 27 年度は当該年度に発掘調査を行った 3 遺跡の発表を行うとともに、加曽利貝塚の特別史跡指定に向け、加曽利貝塚再整理事業の成果を展示した。また、シンポジウムとして『縄文文化を世界から見る』を行った。

3 埋蔵文化財調査

市内で現在周知されている遺跡は、1,336 か所である。開発事業に先立ち、事業者の協力を得て、発掘調査を行い、遺物の収集・記録による保存を行っており、調査によって出土した遺物や記録類については整理をし、報告書として刊行している。

埋蔵文化財調査センターでは、加曽利貝塚の特別史跡指定に向けた取り組みとして、平成 24 年度からの 5 年間でこれまでの調査・研究の成果をまとめるとともに過去の発掘調査での出土資料を再整理・分析し、平成 28 年度に報告書刊行を予定している。

平成 27 年度は公共事業に伴う 7 遺跡の発掘調査、4 遺跡の整理・再整理を実施し、民間開発に伴う 4 遺跡の発掘調査、4 遺跡の整理・報告書刊行を行った。

<平成 27 年度埋蔵文化財調査>

※旧＝旧石器時代、縄＝縄文時代、弥＝弥生時代、古＝古墳時代、奈＝奈良時代、平＝平安時代、中＝中世、近＝近世

(1) 発掘調査 (公共事業)

遺 跡 名	場 所	発 掘 面 積	備 考
田 向 遺 跡	若葉区加曽利町木	45 m ² (確認調査)	縄、古 集落跡、貝塚
宮野木原第 2 遺跡	稲毛区宮野木町	70 m ² (確認調査)	縄、中 集落跡、貝塚
高 崎 台 遺 跡	中央区星久喜町	445 m ² (確認・本調査)	縄、弥、古、奈・平 集落跡、古墳、塚
川 戸 ・ 柳 沢 遺 跡	中央区川戸町	78 m ² (確認調査)	縄、古、奈・平 包蔵地、貝塚
木 戸 作 遺 跡	若葉区多部田町	5,900 m ² (本調査)	縄、弥、古、奈・平 集落跡、古墳、塚
並 木 遺 跡	稲毛区作草部町	50 m ² (確認調査)	奈・平 包蔵地
〃	〃	220 m ² (確認調査)	奈・平 包蔵地

(2) 整理 (公共事業)

遺 跡 名	場 所	調 査 年 度	備 考
餅ヶ崎遺跡	若葉区源町	昭和50～59年度	旧、縄、弥、古、平、中 集落跡
加曽利貝塚	若葉区桜木	昭和37～平成26年度	縄、古 集落跡、貝塚
上谷津第1遺跡	若葉区下泉町	平成10年～12年度	縄、古、奈・平、中・近 集落跡
下谷津第2遺跡	若葉区下泉町	平成10年～12年度	縄、古、奈・平、中・近 集落跡

(3) 発掘調査 (民間事業)

遺 跡 名	場 所	発 掘 面 積	備 考
川戸・柳沢遺跡	中央区川戸町	144 m ² (本調査)	平 集落跡
宮野木原第2遺跡	稲毛区宮野木町	240 m ² (本調査)	縄、古、奈・平、中・近 集落跡
向ノ台遺跡	中央区都町	250 m ² (本調査)	縄、古、中・近 集落跡
田向遺跡	若葉区加曽利町	79.2 m ² (本調査)	奈 集落跡

(4) 整理 (民間事業)

遺 跡 名	場 所	調 査 年 度	備 考
川戸・柳沢遺跡	中央区川戸町	平成27年度	平 集落跡
宮野木原第2遺跡	稲毛区宮野木町	〃	縄、古、奈・平、中・近 集落跡
向ノ台遺跡	中央区都町	〃	縄、古、中・近 集落跡
田向遺跡	若葉区加曽利町	〃	奈 集落跡、

■千葉市の文化財一覧

1 指定・登録文化財件数

種類 区分	有 形 文 化 財							無形文化財	民族文化財		記 念 物			伝建 統 造 物 群	計
	建 造 物	彫 刻	工 芸 品	絵 画	書古典 文籍 跡書等	考古資料	歴史資料		有 形	無 形	史 跡	名 勝	天記 念 然物		
国(指定)										5		2		7	
国(登録)	5													5	
県(指定)	3	3	4	1	3	2		2		2	6		3	29	
市(指定)	6	16	3	1	1	7	1			1	12	1		49	
市(地域)	1				2		1			4	2			10	
計	15	19	7	2	6	9	2	2		7	25	1	5	100	

2 国指定文化財 7件

指定年度	文 化 財 名	所 有 者	所 在 地
昭和45年度	加曽利貝塚	千葉市他	若葉区桜木 8-33 他
昭和52年度	月ノ木貝塚	〃	中央区仁戸名町 299-1 他
昭和53年度	荒屋敷貝塚	〃	若葉区貝塚町 726-1 他
昭和56年度	横橋貝塚	千葉市	花見川区さつきが丘 1-18
昭和62年度	タンチョウ	〃	若葉区源町 280 (動物公園内)
昭和63年度	オジロワシ	〃	〃
平成18年度	花輪貝塚	法人	若葉区加曽利町 1041-1 他

3 国登録文化財 5件

登録年度	文 化 財 名	所有者・管理者	所 在 地
平成9年度	千葉市民ギャラリー・いなげ (旧神谷伝兵衛稲毛別荘)	千葉市	稲毛区稲毛 1-8-35
〃	千葉トヨペット本社 (旧勸業銀行本店)	千葉トヨペット株式会社	美浜区稲毛海岸 4-5-1
平成19年度	千葉県水道局千葉高架水槽	千葉県水道局	中央区矢作町 670
平成23年度	大巖寺本堂	大巖寺	中央区大巖寺町 180-1
〃	大巖寺書院	〃	〃

4 県指定文化財 29件

	文 化 財 名	所 有 者	所 在 地
昭和10年度	千葉寺ノ公孫樹	千葉寺	中央区千葉寺町 161
昭和18年度	戸塚派楊心流流祖・二代墓	胤重寺	中央区市場町 10-11
昭和28年度	検見川の大賀蓮	東京大学緑地植物実験所	花見川区畑町 1051
昭和29年度	青木昆陽甘藷試作地	千葉市	花見川区幕張町 4-594-1
昭和30年度	半円方格帯神獸鏡	個人	
昭和35年度	長谷部貝塚	袖ヶ浦カンツリークラブ	緑区平山町 1204 外
昭和37年度	浅間神社の神楽	浅間神社神楽連	稲毛区稲毛 1-15
昭和43年度	房総数学文庫	千葉県立中央博物館	中央区青葉町 955-2
昭和45年度	木造十一面観音立像	天福寺	花見川区花島町 60
昭和46年度	大覚寺山古墳	千葉市	中央区生実町 1861-1 外
昭和49年度	焚鐘（宝徳元年在銘）	長徳寺	緑区富岡町 209
昭和50年度	千葉教会教会堂	日本キリスト教団千葉教会	中央区市場町 9-20
昭和52年度	旧四関家住宅	千葉市	若葉区御殿町 2538-11 外
昭和53年度	荻生道遺跡	個人	緑区小食土町 747 外（昭和の森公園内）
昭和54年度	東寺山貝塚	千葉市	若葉区みつわ台 1-18
昭和57年度	覚性御房御返事	立正安国会	中央区長洲 1-33-3
〃	鐔口（延文6年在銘）	本城寺	若葉区中野町 699-1
昭和59年度	木造伝七仏薬師坐像	東光院	緑区平山町 271
〃	木造薬師如来坐像	長徳寺	緑区富岡町 209
昭和60年度	金銅透彫六角釣燈籠	栄福寺	若葉区大宮町 3869
昭和63年度	旧鉄道聯隊材料廠煉瓦建築	千葉経済学園	稲毛区轟町 3-59-6
平成5年度	紙本着色千葉妙見大縁起絵巻	栄福寺	若葉区大宮町 3869
平成15年度	千葉寺経塚出土資料（一括）	千葉県（県立千葉高等学校）	中央区葛城 1-5-2
〃	下総三山の七年祭り	七年まつり保存会	千葉市・船橋市・八千代市
平成19年度	陶芸鉄絵銅彩	神谷紀雄（保持者）	
〃	袖ヶ浦市吉野田の清川層産出の 脊椎動物化石	千葉県立中央博物館	中央区若葉町 955-2
平成20年度	浅間山古墳石室出土遺物	〃	〃
平成26年度	日本刀の鍛錬	松田周二（保持者）	
平成27年度	石井雙石篆刻資料	千葉県立美術館	中央区中央港 1-10-1

5 市指定文化財 49 件

指定年度	文 化 財 名	所 有 者	所 在 地
昭和 34 年度	猪鼻場跡（含七天王塚）	千葉市・千葉大学	中央区亥鼻 1-24 外
〃	千葉神社	千葉神社	中央区院内 1-16-1
〃	千葉寺境内	千葉寺	中央区千葉寺町 161
〃	千葉氏累代の墓碑	大日寺	稲毛区轟町 2-1-27
〃	七廻塚古墳出土品（一括）	千葉市教育委員会	中央区南生実町 1210 （千葉市埋蔵文化財調査センター）
〃	武石の板碑	真蔵院	花見川区武石町 1-1413
昭和 35 年度	大日如来坐像	宝幢寺	花見川区幕張町 2-1003
〃	阿弥陀如来立像	〃	〃
〃	荒久古墳	千葉県	中央区青葉町 959（青葉の森公園内）
〃	稲毛の松林	千葉市・浅間神社	稲毛区稲毛 1-10-16 外
昭和 36 年度	薬師如来像	等覚寺	若葉区高品町 478
〃	月光菩薩像	〃	〃
〃	公立千葉病院跡	千葉大学医学部	中央区中央 4 丁目
〃	共立病院跡	〃	中央区院内 2-158（院内公園内）
昭和 37 年度	神楽・神楽書	八剣神社神楽連	中央区南生実町 885
昭和 38 年度	両界曼陀羅（胎蔵界、金剛界）	金光院	若葉区金親町 959
昭和 40 年度	五輪塔	来迎寺	稲毛区轟町 1-7-20
〃	梵鐘（康永 3 年在銘）	千葉市教育委員会	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
昭和 42 年度	森川家累代の墓碑	重俊院	中央区生実町 1156
〃	五日堂の五輪塔	本満寺	緑区誉田町 1-139
〃	伝千葉宗胤五輪塔	宗胤寺	中央区弁天 4-7-23
〃	小壁嵌板彫刻	登渡神社	中央区登戸町 3-3-8
〃	善光寺式観世音立像	東光院	緑区平山町 278
〃	銅板押出阿弥陀三尊像	〃	〃
〃	怨閑塚	個人	緑区誉田町 2-11-3
〃	不受不施派関係古文書	本行寺	中央区浜野町 1252
昭和 49 年度	千眼神社の鰐口（天文 13 年在銘）	天満宮	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
〃	長沼の駒形大仏	長沼町内会	稲毛区長沼町（長沼駒形観音堂境内）
昭和 56 年度	千葉山	金蔵院	稲毛区園生町 444-1 外
〃	滑橋貝塚	個人	若葉区小倉町 1014 外
昭和 58 年度	民間航空資料	千葉市・登渡神社	美浜区高浜 7-2-1（稲毛民間航空記念館）
昭和 62 年度	木造妙見菩薩立像	栄福寺	若葉区大宮町 3869
〃	ジャジャシキの石造五輪塔	個人	緑区越智町 171
平成 6 年度	旧生浜町役場庁舎	千葉市	中央区浜野町 1290-3
平成 7 年度	旧川崎銀行千葉支店本館	〃	中央区中央 3-10-8
平成 11 年度	木造天部形立像 2 軀	東光院	緑区平山町 278
〃	木造阿弥陀如来坐像	福寿院	中央区川戸町 694
〃	木造勢至菩薩立像	泉蔵寺	緑区おゆみ野有吉 31-4
〃	木造釈迦如来坐像	仁守寺	中央区仁戸名町 194
平成 12 年度	木造阿弥陀如来立像	来迎寺	稲毛区轟町 1-7-20
〃	木造不動明王頭部	光明寺	中央区中央 4-5-6
〃	銅造千手観音菩薩坐像	胤重寺	中央区市場町 10-11
〃	木造阿弥陀如来立像	大覚寺	中央区生実町 1783
平成 13 年度	古瀬戸灰釉四耳壺	千葉市教育委員会	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
〃	常滑長頸壺	〃	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
平成 16 年度	千葉御茶屋御殿跡	千葉市	若葉区御殿町 2549
平成 23 年度	内野第 1 遺跡出土人面付土版	千葉市教育委員会	中央区南生実町 1210 （千葉市埋蔵文化財調査センター）
平成 24 年度	五十石遺跡出土把手付中空円面硯 附 盤 1 点	〃	中央区南生実町 1210 （千葉市埋蔵文化財調査センター）
平成 25 年度	中鹿子第 2 遺跡出土土偶	〃	中央区南生実町 1210 （千葉市埋蔵文化財調査センター）

6 市地域文化財 10 件

登録年度	文 化 財 名	所有者・保持者	所 在 地
平成 20 年度	平川町内会文書	千葉市緑区平川町内会	中央区亥鼻 1-6-1
〃	登戸の神楽囃子	登渡神社登戸囃子連	中央区登戸 3-3-8
平成 21 年度	遠近庵三市の追悼碑	宝蔵院	花見川区検見川町 1-5
〃	「開有富」の開墾碑	春日神社	花見川区作新台 5-14
〃	寒川神社の御浜下り	寒川神社氏子青年会	中央区寒川町 1-123
平成 22 年度	稲荷町有文書	稲荷神社	中央区稲荷町 2-8-30
〃	三代王神社の神楽	三代王神社神楽連	花見川区武石町 1-4
平成 25 年度	検見川神社の神楽・祭囃子	検見川神社神楽囃子連	花見川区検見川町 1 - 1
平成 27 年度	黒砂文教場の記念碑	黒砂第一自治会	稲毛区黒砂 4 丁目
〃	千葉市ゆかりの家・いなげ（旧武見家住宅）	千葉市	稲毛区稲毛 1-16-12

■加曽利貝塚博物館

1 加曽利貝塚

国内に約 2,700 か所ある縄文時代の貝塚の中で、全長が 300m を超える最大級の規模を誇る貝塚として知られる。学術的な価値も高く、明治時代から著名な人類学者・考古学者によって発掘され、縄文時代の研究に欠くことのできない資料を数多く提供してきた。

現在、縄文時代中期を主体とする北貝塚、後期を主とする南貝塚とその周辺を含む約 13.4 万㎡が国の史跡に指定され、貝塚の保護を図るとともに、縄文時代の文化や暮らしに親しめる公園として公開・活用されている。公園内は縄文時代の植生に近い環境が復原・保全され、落葉広葉樹林を主とした緑が広がる。また、希少な動植物も生息しており、環境教育などへの活用も期待されている。

平成 24 年度からは加曽利貝塚の価値を高め、その重要性を広く知ってもらうため、特別史跡指定を目指した取り組みを進めている。



▲空からみた加曽利貝塚

2 博物館の特色

貝塚そのものを展示対象とする「野外博物館」を目指し、昭和 41 年に開館した。加曽利貝塚の出土資料を中心とした館内展示と合わせ、貝塚の内部を常に観覧できるように設置された野外施設や復原集落を見学することで、貝塚や縄文時代の暮らしや文化について体感的に学ぶことができる。

平成 15 年度にはボランティアの育成・活用を開始し、見学ガイドや体験活動の充実など、来館者が縄文時代について興味深く学ぶための支援を行っている。

3 野外施設の整備

博物館の設置と合わせて整備が進められた北貝塚では、発掘した住居跡や貝塚の断面をいつでも見学できる観覧施設が昭和 43 年に整備された。一方、南貝塚では、昭和 63 年度から遊歩道や説明板、復原集落などが整備されるとともに、新たに貝塚の断面を観覧できる施設が設置された。このため現在では、北・南両貝塚の時代の異なる貝層断面を比較して見学できるようになった。

北貝塚の住居跡群の観覧施設では、露出している貝層断面や遺構面の劣化が進んでいたが、新たな薬剤による保存処理やレーザークリーニングによる実験が行われ、現在は発掘当初に近い状態で見学できる。また、復原集落では、平成 27 年度末に 1 棟の復原住居を再建しており、平成 28 年度より来館者が縄文時代の暮らしや文化を想像しながら見学できる環境の整備に努めている。

4 館内の展示

○常設展 テーマ「加曽利貝塚の世界」

平成 26 年 8 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで博物館の老朽化に伴う修繕のため休館した後、平成 27 年 4 月 1 日より常設展示を展示替えして再開館した。



新しくなった展示 縄文人の「衣」



新しくなった展示 縄文人の「住」

5 事業の概要

<平成 28 年度行事予定>

	行 事	期 間 ・ 期 日	募集人員	内 容 ほ か
展 示	夏休み縄文のくらし展	平成 28 年 7 月 16 日(土) ～ 8 月 31 日(火)	自由	夏休み期間中に合わせ、縄文時代の「衣・食・住」について、小学生目線でわかりやすく解説。
	第 39 回 縄文土器作品展	平成 28 年 6 月 1 日(水) ～ 6 月 30 日(木) 平成 29 年 1 月 24 日(火) ～ 2 月 9 日(木)	自由	加曽利貝塚土器づくり同好会との共催事業。同好会の一年の活動やその成果を作品とともに展示。
教 育 普 及	縄文ひろば	毎月第 2・4 日曜日	自由	縄文時代の火おこしやアングイン編みなどの体験・学習。
	ゴールデンウィークイベント	平成 28 年 5 月 3 日(火)～5 日(木)	自由	縄文時代の火おこしやアングイン編みなどを体験。復原住居とその周辺で石斧による伐採体験・研磨体験・石皿・石器の使用体験、土器の煮炊き実演。縄文土器接合体験・土偶マグネットづくり。他
	市民土器づくり講座	①平成 28 年 4 月 10 日(日)・17 日(日)・24 日(日)、5 月 15 日(日) ②平成 28 年 9 月 11 日(日)・18 日(日)・25 日(日)、10 月 16 日(日)	各回 16 人	縄文土器を、縄文時代の方法で制作し、縄文時代の技術と文化を体験学習する。
	土器ドキ発掘体験	平成 28 年 7 月 22 日(金)・27 日(水)・29 日(金)、8 月 3 日(水)・5 日(金)・10 日(水)・17 日(水)・19 日(金)・24 日(水)・26 日(金)	各回 10 人	発掘調査の疑似体験。再現した竪穴住居跡を発掘調査し、発掘した土器などの観察から、縄文時代の生活を体験・学習する。
	加曽利貝塚縄文ひろば ー夏休み縄文体験ー	平成 28 年 7 月 16 日～8 月 31 日の間の各土・日曜日 (8 月 13 日・14 日は除く)	自由	縄文時代の火おこしやアングイン編みなどの体験・学習。縄文ひろばの夏休み拡大版。
	縄文くらし体験	平成 28 年 7 月 16 日(土)～18 日(月)、8 月 11 日(木)・13 日(土)・14 日(日)	自由	復原住居とその周辺で石斧による伐採体験・研磨体験・石皿・石器の使用体験、土器の煮炊き実演。
	小学生土器づくりの会	平成 28 年 7 月 24 日(日)・31 日(日)、8 月 21 日(日)	16 人	小学校 5・6 年生を対象とした縄文土器づくり体験。
	開館 50 年縄文まつり	平成 28 年 10 月 29 日(土)・30 日(日)	自由 300 人 (一部)	前夜祭：博物館夜間開館・夜の復原住居の見学や天体観望会。 本祭り：土器ふれあい体験・縄文体験、地域団体による物販他。
	縄文時代研究講座	平成 28 年 11 月 30 日、12 月 21 日、平成 29 年 2 月 22 日(各水曜日)	各回 50 人	加曽利貝塚や縄文時代の魅力を知ってもらえるよう、最新の研究成果を題材とした講座を開催。全 3 回。
	開館 50 年記念講座 「加曽利貝塚博物館研究のあゆみ」	平成 28 年 11 月 23 日(水)	50 人	これまでの研究事業の紹介と、縄文土器製作技術研究のあゆみと成果を発表。
調 査 研 究	自主研究 ・ 東京湾岸における貝塚文化の研究 ・ 縄文土器の製作技術や用途の研究			
出 版	・ 貝塚博物館紀要第 43 号 発行部数 800 部 平成 29 年 3 月発行予定			

6 博物館の整備

博物館は昭和 41 年の開館から半世紀を迎える。施設の老朽化が進んでおり、平成 28 年度も将来的な博物館のあり方の検討を行っている。

■郷土博物館

昭和 42 年 4 月 9 日、観光課の所管施設「千葉市郷土館」として開館し、昭和 51 年 7 月に教育委員会社会教育課へ移管され、さらに昭和 54 年 4 月、文化課の設置にともない本市における文化施設としての方向づけがなされた。

さらに、昭和 58 年 4 月に「千葉市立郷土博物館」と館名を改めた。主として歴史・民俗系の博物館として活動しており、同時に市史編さん事業も行っている。

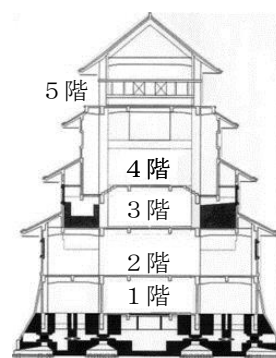
平成 19 年 4 月より教育委員会の組織改革に伴い、生涯学習振興課の所管となり、平成 27 年 4 月からは文化財課の所管となっている。



▲郷土博物館

1 施設及び展示内容

- 1 階 原始・古代から現代までの歴史年表
千葉市の歴史のあれこれを紹介する導入展示のコーナー
- 2 階 収蔵資料の展示（特別展・企画展会場）
- 3 階 千葉氏の興亡と妙見信仰
- 4 階 近現代の千葉市
- 5 階 展望室（展示室）



2 入館状況（平成 27 年度）

年度	開館 日数	大 人		小・中学生		観覧料 免除者	合 計
		個人	団体	個人	団体		
27	299	人 29,807	人 2,474	人 6,583	人 1,484	人 4,703	人 45,051

※平成 27 年 7 月 1 日より観覧料無料化

3 展示事業（平成 28 年度）

事 業 名	期 日 等	内 容 ・ 目 的 等
企画展「千葉妙見大縁起の世界-千葉妙見大縁起絵巻の全容-」	平成 28 年 8 月 9 日(火)～ 12 月 11 日(日)	千葉市若葉区の榮福寺に伝わる『紙本著色千葉妙見大縁起絵巻』（千葉県指定有形文化財）は、千葉氏と妙見信仰にかかわる数々のエピソードが描かれている。その全容を初めて公開するとともに、関連資料をあわせて展示する。
パネル展「全国に広がった千葉氏」	平成 28 年 6 月 1 日(水)～ 9 月 30 日(金)	千葉常胤以降の千葉氏が全国に広がっていき、各地で発展をとげ、その後の歴史に大きく関わっていった様子を現在も残る千葉氏関連の史跡や行事などのパネルを通して紹介する。

4 教育普及事業（平成 28 年度）

事業名	期 日 等	内 容 ・ 目 的 等
歴史講座	平成 28 年 11～12 月（全 3 回）	千葉市を中心とした歴史について解りやすく解説。
ふるさと講座	平成 29 年 3 月（全 3 回） うち 1 回はバス見学会	千葉の歴史や文化を理解するため、歴史・民俗についての講演と見学会を開催。
鎧やむかしの着物の着用体験	平成 28 年 4 月～29 年 3 月 (10 回) 毎月第 2 土曜日	中世の鎧や小袖、桂（いずれも複製）などの着用体験により、日本の歴史に親しむ。
夏休み小・中学生郷土史講座	平成 28 年 8 月 23 日・25 日	小・中学生とその保護者を対象に縄文時代についての講座と石器使用などの体験、中世の鎧や着物についての解説と着用体験などで歴史に親しみ、千葉の歴史や文化への理解を深める。
鎧作り体験講座	平成 28 年 7 月 20～22 日(全 3 回)	小学生に昔の鎧の複製をボール紙で作り、歴史理解とものづくりを体験。
歴史散歩	平成 28 年 11 月 20 日	郷土博物館周辺の文化財の見学会を行い、千葉市の歴史や文化への理解を深める。

5 資料収集保管事業

展示・研究に必要な資料の収集・保管（平成 27 年度までの収集点数）

歴 史	民 俗	書 籍	科学等	美 術	合 計
5,164 点	6,786 点	16,611 点	143 点	212 点	28,916 点

6 調査研究事業（平成 28 年度）

事業名	調 査 内 容
千 葉 市 民 俗 調 査	高齢者からの聞きとり調査を中心にして、失われていく昔の生活の様子等に関する資料を収集する。
千 葉 市 関 係 文 書 調 査	千葉市の歴史にかかわる資料を調査する。

7 市史編さん事業（平成 28 年度）

事業名	事業内容	
史料調査収集事業	市内の歴史資料の調査・収集・整理	
市史等の刊行	『千葉いまむかし』30 号の発行（千葉市史・市史史料編を補完する論文、史料紹介など）	
市史普及事業	対象・回数	事業内容
市史研究講座	市民・2 回	千葉市史等をもとに市域内の歴史的事柄を解説する。テーマ：千葉市の歴史を学ぶ
初級古文書講座 （午前・午後）	市民 ・各 6 回	古文書の講読を通して江戸時代の郷土を理解する。 テーマ：江戸時代の村の古文書を読む
中級古文書講座	市民・6 回	古文書の読解力・文章把握力を高める。

■千葉市科学館

千葉中央第六地区市街地再開発事業における公共公営施設ののひとつとして、千葉市科学館が開館した。この科学館は、常設展示、プラネタリウム投影、ワークショップ、講座を通して、青少年の創造力の涵養、並びに市民文化の向上を目的に、千葉市の科学の拠点を目指し設置するもので、“参加体験型科学館”を目指し、幅広い年齢層に対応する施設を目指すものである。

1 施設の概要

- (1) 開館日 平成 19 年 10 月 20 日
- (2) 住 所 千葉市中央区中央 4-5-1
Qiball（きぼーる）内
- (3) 施設構成 常設展示室、企画展示室、
プラネタリウム室
- (4) 延床面積 約 13,000 m²(複合ビルの 7～10 階他)
- (5) 開館時間 9：00～19：00
(プラネタリウム最終投影は 19:00～)
- (6) 休館日 年末年始、施設の保守点検日
- (7) 駐車場 大型バス 4 台、自家用車は隣接駐車場
を利用（有料）
- (8) 交 通 モノレール菟川公園下車徒歩 5 分



▲千葉市科学館（Qiball（きぼーる）7～10 階）

2 運営の特色

運営コンセプトに“人が主役”“来館者との体験の共有”の 2 つのキーワードを設定している。各展示エリアには、展示品に加えスタッフやボランティア等、人を介した探究の場を設けている。

また、利用者が実際に手を触れながら学べる展示物や展示内容をさらに深めることのできる情報端末を全展示エリアに配置している。

3 常設展示室の構成

8 階より 10 階までの 3 フロアが常設展示室で、140 の展示物とワークショップの場を設定している。

8 階は“ワンダータウン”といい、光・音・錯視・数学等身の回りの不思議な科学を扱い、諸室として科学実験室・講義室を設けている。

9 階は“テクノタウン”といい、電気・工学メディア・先端技術等技術とものづくりをテーマとしている。諸室としては、科学工作室がある。

10 階は“ジオタウン”で、地球や宇宙、環境等を扱っており、探究実験室、JAXA コーナー、気象協会オンラインデータ等が設置されている。

4 プラネタリウム

Qiball（きぼーる）のシンボルマークである球体で、直径 23m のドームに 200 の座席を配置し、投影機は光学式投影機とプロジェクターによる最新ハイブリッド型を採用している。星空の美しさ、特に天の川の精緻な描写、また星空の説明案内においてもデジタル技術が盛り込まれたものである。

生解説に全天周映像番組等を織り交ぜながら、幅広い年齢層に対応した番組を投影することとしている。